

宇美西口交差点の渋滞緩和と内野川の防災強化を

答 福岡県に強く要望する



平野 龍彦 議員

問 宇美西口交差点の渋滞については、昨年の3月と9月に、不転の決意で、解消に取り組みたいと町長から回答をいただいていた。平成から令和へと大きく時代は変わったが、宇美西口の渋滞は何も変わっていない。所見は。

答 町長 私もよく通るが、慢性的な渋滞が続いていて、町内外の方々に不便をかけている。一日も早く改善をしなければという気持ちは変わらないが、この地点だけで事が解決する問題ではない。大動脈の志免宇美線の全面供用開始が最優先。その後この西口周辺を都市計画道路として整備をしていかねばならないと考えている。

問 宇美西口は西鉄バス、タクシー、救急車など誰もが困っているが、所見は。

答 建設都市計画課長 朝夕混んでいる。一



青信号でも進まない宇美西口交差点

日も早い混雑解消に向けて動きたい。

問 太宰府市は五条交差点、志免町は大の交差点、須恵町は須恵中央交差点、粕屋町は扇橋交差点が福岡県の交通渋滞対策協議会の指定を受けている。宇美町においても西口の申請ができないものか。

問 宇美西口渋滞の要因の一つである乙金病院前信号のサイクル調整はできないか。

答 課長 現在登録されていないが、今後は県と連携の上、申請を行いたい。

答 課長 車道側の青信号の間隔が非常に短いため、令和元年6月6日に県を通じて、県警に要望している。

問 数十年未整備の内野川は洪水、氾濫となる危険性が高いが、町長の見解は。

答 町長 危険箇所が多々あると認識している。

問 河川氾濫となる危険性が高い内野川の河道内を塞いでいる竹林と樹木の撤去は。

答 建設都市計画課長 県に要望書を提出している。



内野川をふさいでいる竹林と樹木

問 通過交通量が多い炭焼一自治会公民館前の河川敷の陥没復旧を優先できないか。

答 課長 県は今年度内に一体的に発注すると思う。

問 内野川地域の避難行動要支援者の名簿は策定しているか。

答 総務課長 町内では927名、宇美小校区では197名登録している。

問 総務省通達の市町村災害時受援計画はできているか。

答 課長 来年の梅雨どきまでに策定する。

総務建設常任委員会

- 委員長 小林 征男
副委員長 安川 繁典
委員 白水 英至
委員 入江 政行
委員 藤木 泰
委員 南里 正秀
委員 平野 龍彦

建設・都市計画課

平成31年度社会資本整備 総合交付金事業

- ※社会資本整備総合交付金
- 狭あい道路整備等促進事業
交付内定率95%
- 町道炭焼〜新田原線道路拡幅設計業務委託等を計画しており実施。
- ※防災・安全社会資本整備交付金
- 公園施設に関する防災・安全資本整備交付金
交付内定率60%
- 一本松公園内のトイレの設

計、改修工事及び都市公園の遊具の中から優先順位をつけ更新を計画。

○橋梁に関する防災・安全社会資本整備交付金
交付内定率21%

跨線橋1橋の補修設計及び新開橋の補修工事を実施し、残事業は次年度に延伸。

○交通安全施設に関する防災・安全社会資本整備交付金
交付内定率93%

町道大谷〜山の神線の水路調査設計業務委託と改良工事を計画しており実施。

○道路に関する防災・安全社会資本整備交付金
交付内定率29%

井野〜吉原線の280m区間の舗装補修工事を実施し、残事業は次年度に延伸。

問 橋梁補修事業、道路補修事業の交付内定率が3割以下になっている要因は。

国の方針で、交付金事業は重点配分事業とそうでない事業とに分かれており、重点配分事業は高い内定率となっているが、重点配分事業でない事業は予算がつかない状況である。

答

国の方針で、交付金事業は重点配分事業とそうでない事業とに分かれており、重点配分事業は高い内定率となっているが、重点配分事業でない事業は予算がつかない状況である。

総務課

自主防災組織設立準備 会議の経過報告

(平成31・3・31現在)

- 原田小学校区
5回開催、延べ100人参加。
- 桜原小学校区
4回開催、延べ70人参加。
- 宇美小学校区
2回開催、延べ37人参加。
- 宇美東小学校区、井野小学校区は、代表者及び役員会で協議を実施。

農林振興課

食育・地産地消の観点から農業に関する様々な体験の場を提供。タマネギを小学校5

薬用作物試験栽培事業

薬用作物生産部会が五ヶ山ダム湖畔で開催の福岡都市圏魅力PR物産展に「うみまちハーブ」を使った菓子等を販売。

木製品展示事業

福岡県の森林環境税事業を活用し、県産材を使用した木製品を展示する事業を実施。



展示された木製ベンチ
にピーロ口階段1層
展示された

上下水道課

平成30年度宇美町上水道 事業会計予算繰越

障子岳南三丁目外配水管布設替工事(1)(2)(3)を下水道築造

工事工期延長のため予算額9,900万円を翌年度へ繰り越すことの報告。

平成30年度宇美町流域関連 下水道事業会計予算繰越

障子岳南三丁目外下水道築造工事(1)(2)(3)及び地下埋設物補償費を下水道築造工事工期延長のため予算額1億9,151万1千円を翌年度へ繰り越すことの報告。

下水道供用開始地区

本年5月1日に4.8haの下水道供用開始を実施。合計669.8ha、整備率79.8%、普及率87.8%、水洗化率93.5%となる。

財産活用課

宇美町企業立地及び住宅団地の開発促進条例に基づき奨励措置認定

認定された企業等
○九州ホームズ株式会社
住宅団地開発に係る町有地の取得。